

第2回 三重県議会「政策セミナー」の開催について

趣 旨

県政において南部地域の活性化は重要な課題であり、県議会としても多様で豊かな自然や歴史風土を大切にしながら、集客交流や産業振興などの取組が総合的に進められているかを注視しているところである。

特に東紀州地域は、本年9月の熊野尾鷲道路の開通などアクセスの利便性も高まり、来年には熊野古道世界遺産登録10周年を迎えるなど、地域の活性化を考えるうえで非常に大事な時期を迎えている。

今回のセミナーでは、過疎・高齢化が進む尾鷲市において、行政の補助金に頼らず、地域を元気にするイベントを始め、地域の農林水産物の生産増大、環境整備、地域づくりの担い手育成など多岐に渡る取組により、地域づくりを進めてこられた経験をお話しいただき、今後の議会における政策議論の充実・深化に繋げるものとする。

日時・場所

平成25年11月6日(水) 13:00~14:30

三重県議会議事堂3階 全員協議会室

講師・演題

「ふりかえれば30年 - 天満浦百人会のまちづくり - 」

講師：松井 まつみ 氏 (NPO法人 天満浦百人会副理事長)



「天満浦をにぎやかにしよらい!」を合言葉に平成12年に任意団体天満浦百人会を結成する。平成19年には同団体をNPO法人化し、副理事長に就任、精力的に地域づくりに携わる。同団体の活動は全国的にも高く評価されており、「食・アメニティコンテスト農林水産大臣賞」や「豊かなむらづくり表彰東海農政局長賞」等を受賞している。